

交通安全の心得

冬の運転 交通事故防止の心得

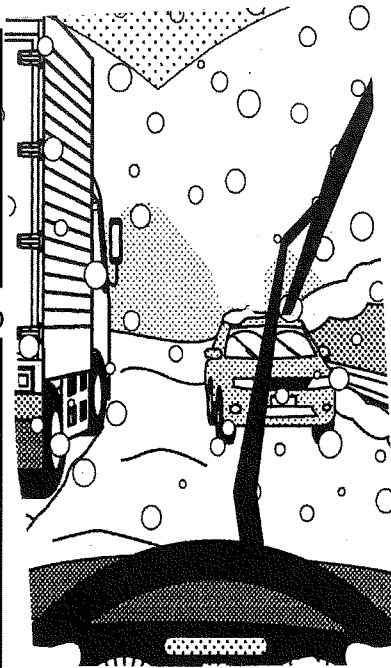
寒冷・降雪対策の点検、整備を

【表1】あらかじめ点検・整備しておきたいこと

- ◆バッテリーの液量・比重・電圧
- ◆冷却水の液量・濃度
- ◆エンジンオイルの液量・汚れ
- ◆ウォッシャー液の量（耐寒用もしくは原液を使用）
- ◆寒冷地を長く走る場合は、ワイパーを雪がつぎにくいスノーブレードに換えておくと安全で便利

【表2】冬の雪道ドライブで車に持っていたいもの

- ◆チェーン（タイヤにあったもの。取り付け方を事前に確認）
- ◆雪かき用スコップ
- ◆スノーヘルパーや砂（スタック脱出用）
- ◆スノーブラシ（車上の雪払い用）
- ◆懐中電灯
- ◆解氷剤（凍結した鍵穴の解氷やフロントガラスの霜取り用）
- ◆軍手、長靴、防寒具、携帯用カイロなど
- ◆スペアキー
- ◆JAF 会員証



今年の冬は、エルニーニョ現象の影響で暖冬と言われていますが、一度寒気が南下すると北日本の日本海側や北陸では一時的に大雪に見舞われる可能性もあるそうです。改めて積雪や路面凍結への備えと安全運転の注意点を確認することが必要です。

○準備すること

(1) スタッドレスタイヤ・タイヤチェーン等の備品の確認（左上表参照）

(2) 渋滞・通行止め等で時間がかかるため、早めの出発、余裕のある予定を組む。

○降雪・積雪、路面凍結時の運転のポイント

(1) 車の屋根の積雪は、走行中にフロントガラスに落下するため出発前に除雪しておく。

(2) 「急」のつく運転は、タイヤが滑りコントロールを失います。早めの安全確認と判断で「急」のつく運転をしない。

(3) ブレーキは早めの判断でゆっくりと。特に赤信号では早めに減速する。

(4) 先行車との車間距離を倍以上とる。

(5) 発進時はアクセルをじわりと踏み込み、ゆっくりと発進する。

(6) 歩行者や自転車の、歩道の積雪による車道にはみ出している歩行・飛び出しに備える、など。降雪時に適切に行動できるよう、車両や備品、注意点等の確認・準備をしておきましょう。